

平成24年度・自主研究会等の活動報告書

研究会等の名称	大分 BSC 研究会
代表者	岩崎美紀
参加者	清成真一、首藤 毅、蔵前達郎、岩崎美紀（会員） 小野隆徳、伊東寿朗、隅田紀子（非会員）
研究会等活動の目的	BSC（バランススコアカード）理論を知り、中小企業診断への応用手法を研究する
活動の記録	1/26（土）定例会・懇親会（清成、小野、岩崎） 12/8（土）定例会・懇親会（清成、蔵前、首藤、小野、伊東、隅田、岩崎） 11/24（土）定例会・懇親会（首藤、小野、岩崎） 10/27（土）定例会・懇親会（首藤、小野、岩崎）
研究会（調査研究事業）の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月の更新研修で研究会紹介の時間を頂き、チラシも30枚配布した。このチラシを通じて、新入会員を得ることができた。</li> <li>・ 定例会では事例発表や演習を実施し、BSC についての理解を深めることができた。演習では戦略マップの作成プロセスを会得した。</li> <li>・ 支援機関、他士業、企業経営者らもゲストとして迎え、SNS を通じて BSC のネットワークを構築した。当 SNS は会員への定例会連絡手段として活用している他、システム会社経営者と業種別テンプレート作成プロジェクト発足について検討する、転勤で大分を離れた研究会メンバーとの交流を継続する、等の動きも生まれており、BSC を通じた生きたネットワークとして機能している。</li> <li>・ 豊後大野市商工会のご協力を得て、同商工会管轄の5～6社の中小企業へ導入することとなり、経営指導員会議にも出席の予定である。この導入事例については、事例集、セミナー等での公表を前提としており、来年度の研究会においても積極的に取り組んでいく考えである。</li> </ul>
研究会（調査研究事業）の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BSC を中小企業に実際に適用して、導入と成功パターンを探るため、多くの企業への導入・運用事例を作る</li> <li>・ BSC 理論の中小企業応用をさらに深く掘り下げ、導入事例を増やし実績を作る</li> <li>・ 業界別テンプレート作成に取組み、成果物を会員に提供しコンサルティング現場に活かす</li> </ul>

中小企業経営者  
へのメッセージ

バランスト・スコアカード（BSC）とは、1992年にハーバードビジネススクールのキャプラン教授とコンサルタント会社のノートン社長により、「ハーバード・ビジネス・レビュー」誌上に発表された業績評価システムです。従来の財務分析だけでなく、数値化しにくいとされてきた顧客の視点、業務プロセスの視点、成長と学習の視点を加味した業績評価を行ない、企業のもつ重要な要素が企業のビジョン・戦略にどのように影響し業績に現れているのかを可視化することができる、経営管理において大変有益なツールです。戦略とリンクしたアクションプランを一枚のシート（「戦略マップ」と「スコアカード」）に表し、経営計画書や戦略実行ツールとしても活用されており、多くの大企業・上場企業において、その運用が定着しています。

我々が導入に関与した中小企業経営者からは、「経営者、スタッフのやるべき事が明確になった」「スタッフに経営について意識させることができた」等の好意的な声が寄せられ、一定の成果を挙げております。ぜひ、ご関心をお持ち頂き、貴社への導入をご検討頂ければと存じます。ご相談にはいつでも対応させていただきますので、どうぞお気軽に岩崎宛にお問い合わせください。お待ちしております。

大分 BSC 研究会 代表 岩崎美紀 [info@mikimiki.biz](mailto:info@mikimiki.biz)